

働く男のライフスタイル情報紙

# Biz Life Style [ ビズスタ ]

2023 03

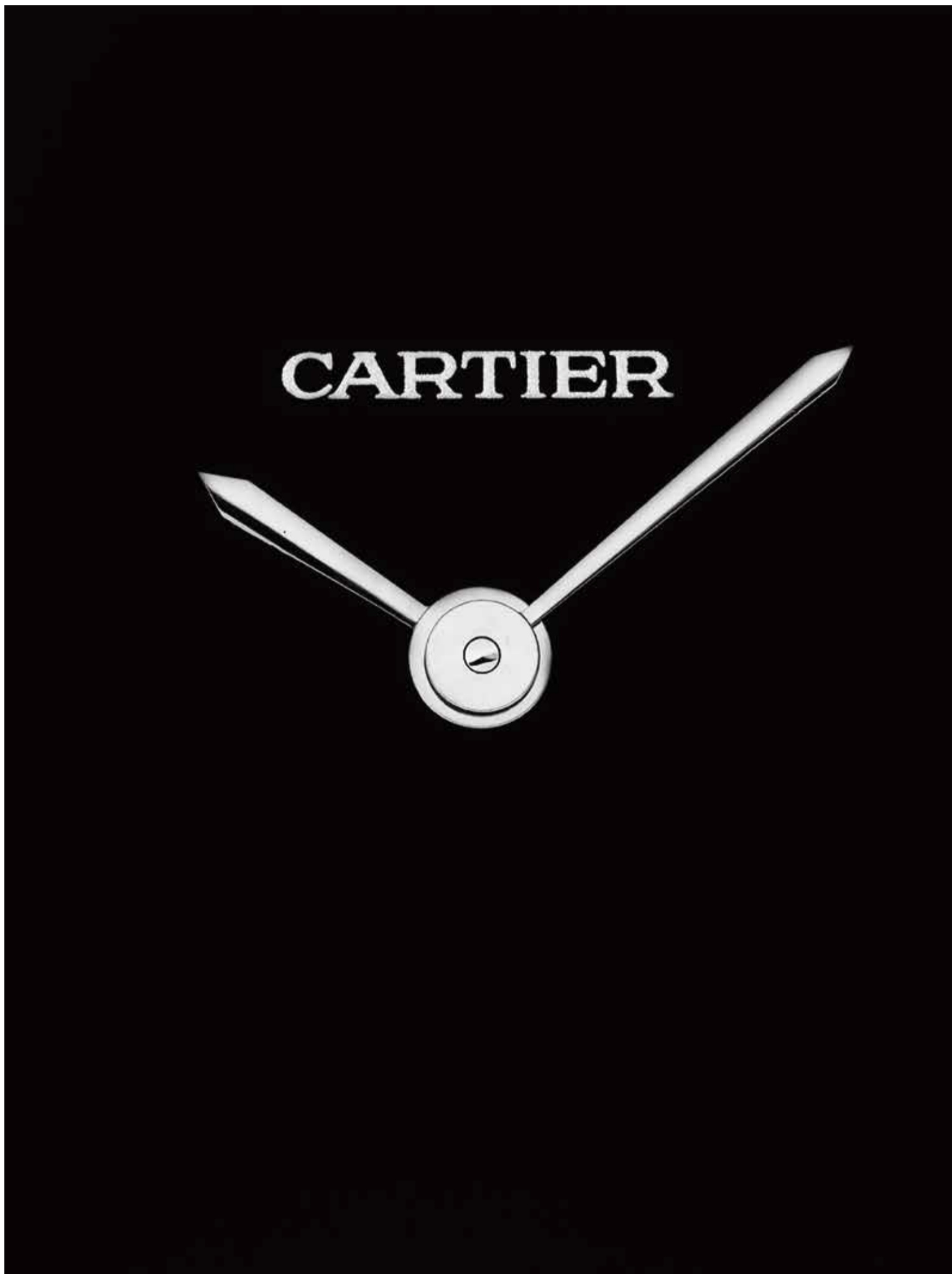
特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、関西、  
仙台、福岡、広島にて49万部発行  
下記URLまでアクセスを。

[www.biz-s.jp](http://www.biz-s.jp)

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイリースポーツ案内広告社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F  
© 2023 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



Paul & Henriette © Cartier

“時”を語る、カルティエ



Paul & Henriette © Cartier

### TANK

#### ジェンダーレスな魅力漂う ミニマルデザインの「タンク」

「Less is More」(少ない方が豊かである)というデザインの考え方を体現するよう、削き落とされたデザインが魅力の「タンク」。すべての色を包括するブラックカラーの文字盤には、インデックスもなく、時間束縛されず、自分らしさを謳歌するというメッセージが込められているようだ。最大の魅力はジェンダーレスな佇まい。サイズ感やケースの薄さでも性別を問わず似合うものだ。タンクは、ルイ・カルティエは、イエローゴールド、ローズゴールドの組み合わせ。タンクマストは、ステンレスとティールケースと組み合わされ、そのサイズが用意されている。ちなみにカルティエらしいローマ数字のインデックスを配した視認性の高い文字盤の定番モデルは、艶やかなイエローゴールドケースに、女性の愛用者が多い。カルティエのイエローゴールドは控えめな輝きで肌なじみがよいので、万人の手元に似合い、装いを格上げする効果があるのが特徴だ。もっとも、平和を願って生まれた「タンク」のデザインは、今の時代性にも合ったタイムピースと言えるかもしれない。

### カルティエにとって、時間とは？

単に計測する対象ではなく、自らに寄り添うもの。大切なのは、今、この瞬間、この場所。いわば、時間は、「今」を自分らしく、有意義に過ごすためにこそ使うものなのだ。その時の哲学を秘めて、カルティエは、1世紀以上をかけて、時間という千変万化であり、タイムレスで実態のないものを独自のスタイルのタイムピースへと昇華してきた。それは、絶えず可能性の限界、美的感覚の限界、アイデンティティの限界への挑戦となる。まさに、カルティエの腕時計は、メゾンの創造性と卓越した技の結実。身に着ける人を鼓舞し、人生のステップアップに寄り添うパートナーとして、これ以上ふさわしい存在はないだろう。



Paul & Henriette © Cartier



タンク ルイ カルティエ  
29.5×22mm クォーツ  
イエローゴールド  
アリゲーターストラップ  
1,372,800円(税込)

© Cartier



タンク ルイ カルティエ  
33.7×25.5mm  
手巻き (Cal. 1917 MC)  
イエローゴールド  
アリゲーターストラップ  
1,742,400円(税込)

© Cartier



タンク マスト  
33.7×25.5mm  
クォーツ  
ステンレススチール  
アリゲーターストラップ  
434,500円(税込)

© Cartier



タンク マスト  
29.5×22mm  
クォーツ  
ステンレススチール  
アリゲーターストラップ  
412,500円(税込)

© Cartier

### SANTOS DE CARTIER

#### マニュファクチュールで進化する「サントス ドゥ カルティエ」

ビジネスシーンでは、各詞以上に持ち主のアイデンティティを物語る存在となる腕時計。「サントス」がこの世に誕生していなければ、時計はもっと時間を計測する利便性が追求されていなかっただろう。現代のファッションも大きく変わっていったことだろう。そういう意味で、「サントス」の功績は非常に大きい。それだけ重要なコレクションは、2000年にスイスのラシャイェンで、2001年に工場を構えてから、徐々に進化を遂げ、自社生産のマニュファクチュールとしての姿勢を表明してきた。2009年には、自社製ムーブメントを発表し、2010年からは外装部分のケースやブレスレットも自社で手がけていく。その結果として、自分で簡単にブレスレットのアリゲーターストラップを交換できる「クイックスイッチ」ブレスレットの長さを調節できる「スマートリンク」システムを搭載することが可能になったのだ。新作に見られる独特のブルー文字盤や、スケルトンモデルの登場も、マニュファクチュールならではの卓越した技があつてこそ実現できるものなのだ。



Iris Velghe © Cartier



サントス ドゥ カルティエ  
47.5×39.8mm  
手巻き (Cal. 9611 MC)  
ステンレススチール  
ステンレススチールブレスレット、  
アリゲーターストラップ各1本  
4,224,000円(税込)

© Cartier



サントス ドゥ カルティエ  
47.5×39.8mm  
手巻き (Cal. 9611 MC)  
ステンレススチール  
ステンレススチールブレスレット、  
アリゲーターストラップ各1本  
4,224,000円(税込)

© Cartier



サントス ドゥ カルティエ  
47.5×39.8mm  
自動巻き (Cal. 1847 MC)  
ステンレススチール  
ステンレススチールブレスレット、  
カーフスキンストラップ各1本  
998,800円(税込)

Vincent Wulverryck © Cartier

## Men's Watch News Flash

### ルイ・カルティエの伝説をまとう

カルティエのウォッチを語るうえで外せないのが、3代目当主ルイ・カルティエだ。新商品の好きでつねにチャレンジを怠らなず、メンを世界へ発信した。たことでも知られる人物である。その大胆な生き様は、現代を生きる男性にとても刺激を与えるはずだ。

2022年の新作でも、彼の伝説を語る3つのコレクションが進化を遂げた。特筆すべきは、いずれも魅力的な新カラーが登場した。ひしひしと、メンを代表する人気コレクション「タンク」の系譜を受け継ぐ「タンク ルイ カルティエ」。1917年に誕生して以来愛されている、2本の並行する縦枠「ロウタン」ギョ

ラーケースのデザインを、1920年に再解釈したものだ。縦枠を細くして角を丸くし、ケースを伸ばしたウォッチが特徴で、実際にルイ・カルティエが愛用していたことも有名である。今年注目したいのは、漆黒の文字盤。同じ漆黒の文字盤は、「タンク マスト」の新作にもお目見えした。昨年「タンク ルイ カルティエ」を踏襲し、刷新されたシンプルでデザインにブラックカラーがよく映える。もうひとつ、ルイ・カルティエと所縁の深いコレクションといえは「サントス」をおいてほかならない。彼の友人であったブラジル人の大富豪で、空を飛ぶことが何よりも好きだった飛行家



Matthieu Lavanchy © Cartier

# Ladies Watch News Flash

## ハイジュエラーの矜持が息づく ジュエリーウォッチ

### PANTHÈRE DE CARTIER

#### 大胆にしなやかに生きる現代女性のアイコン 「パンテール ドゥ カルティエ」

世界中のロイヤルファミリーや各界のセレブリティを虜にしたカルティエのクリエイション。誇り高さハイジュエラーとして、芸術的なジュエリーウォッチの数々が歴史を彩ってきたことも忘れてはならない。なかでも、1914年に初めて時計として誕生した「パンテール」のデザインは造形の美しさに止まらず、自由を愛し、時代の先をゆく女性たちの代名詞となっていた。最初に「パンテール」の異名を持ち、パリジエヌの憧れを集めたのは、男性中心の社会で、メゾンのクリエイティブ・ディレクターとして活躍したジャンヌ・トゥーサン。その後、抜群のセンスと大胆な行動で魅了したウィンザー侯爵夫人や、パリのファッションアイコンとして注目を集めたディジー・フェロウらが名を連ねる。強い眼差しに、しなやか



Iris Velghe © Cartier

な四肢、野性味あふれるスタイルは、パンテールを体現する多面的な魅力を持つ女性たちのように具体的な造形から、幾何学、抽象まで実に幅広い表現が用いられてきたことも特徴である。

2023年は、宝石のカラーを思わせるプラム、ゴールド、ナイトブルー、ブラックの4つのカラー文字盤の優美なモデルが登場した。見る角度によって、表情が異なる輝きを楽しめるのも、幾つもの顔を持つパンテールウーマンを思わせる。また、インデックスがない文字盤は、時間という概念から解放されて、自由を謳歌する女性を象徴するようだ。一方で、「パンテール ドゥ カルティエ」の魅力が、小ぶりでエレガント

なデザインなのに視認性が高いところと称賛する女性も多く、定番モデルも人気を博している。身に着ける人のライフスタイルに合ったスタイルを選べるのも、「パンテール」がどんな時代でも愛されてきた理由のひとつ。そして、何より、「パンテール ドゥ カルティエ」は、どんな女性の腕元にも似合う。それは、このタイムピースを身に着ければ、女性の中に眠る、パンテールを表す大胆さ、自分らしさ、自信、魅きつける力、優美、しなやかさのいずれかのキーワードが共鳴するからだ。腕元に「パンテール」の輝きがあれば、きつとあなたに寄り添い、豊かな時間が過ぎるように導いてくれるはずだ。



© Cartier

**パンテール ドゥ カルティエ**  
30×22mm クォーツ  
ステンレススチール  
ステンレススチールプレスレット  
594,000円(税込)



© Cartier

**パンテール ドゥ カルティエ**  
30×22mm クォーツ  
ステンレススチール、ダイヤモンド  
ステンレススチールプレスレット  
1,161,600円(税込)



Antoine Pivdori © Cartier

**パンテール ドゥ カルティエ**  
25×20mm クォーツ  
イエローゴールド、ダイヤモンド  
イエローゴールドプレスレット  
日本限定  
3,986,400円(税込)

掲載した商品の価格は令和5年3月15日時点のものです。価格や仕様は予告なしに変わることがございます。

### Biz Life Style Pick up >>>

## 札幌でも唯一となる「カルティエ ウォッチ ブティック」が 最新モデルや特別なコレクションの数々と出会えるフェアを開催

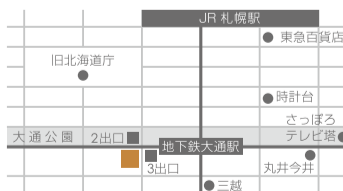


**ISHIDA**  
BEST

ISHIDA N43° イシダ・ノース・フォーティスリー・ディグリーズ  
北海道札幌市中央区大通西5-1-1 TEL.011-200-4300  
営業時間/11:00~19:00 火曜定休

札幌大通公園に面した角に佇む「ISHIDA N43°」は、いくつもの世界的ハイブランドで道内唯一の正規取扱店を務めるウォッチファンの聖地。1階で展開する「カルティエ ウォッチ ブティック」はエリア随一の面積を誇り、カルティエの洗練された世界観と時代を超えるタイムピースの数々を堪能できる高級感に満ちた空間が広がる。

来月には、1か月間にわたり「カルティエ ウォッチ コレクション」を開催。また、同期間内には、新作をはじめ、プレシャスなモデルが並ぶプレミアムな1週間「VIP WEEK (4月17日~23日)」も予定している。



#### 取り扱いブランド

ブレゲ、ブランパン、ウブロ、ブライトリング、IWC、パネライ、オメガ、ユリス・ナルダン、トム・フォード、ゴリラ、ボーム&メルシエ、エベラール、モーリスラクロア、ノルケイン ほか

<https://ishida-watch.com>

カルティエ カスタマー サービスセンター  
フリーダイヤル 0120-301-757  
受付時間/10:00~20:00 無休(年末年始を除く)

[www.cartier.jp](http://www.cartier.jp)